

「平成 28 年版情報通信白書」(総務省)では

「近年の人口知能 (AI) 技術やロボティクスの急速な進歩によって、非定型的な知的業務や複雑な手仕事業務を将来的には機械によって代替されるものとの見方が強まりつつある」と述べられている。人工知能技術やロボット工学の急速な進歩が、人々の雇用や生活に与える影響について考えを論ぜよ。

シンフォニーに定義で示して、その定義からスタートして
GOOD である。

1 近年の人工知能の進歩について

人工知能 (AI) とは、人間の言語や考え方を学習したコンピュータープログラムである。近年では、iPhone に導入されている Siri や、OpenAI が開発した ChatGPT、スカイラーレストランで導入されているネコ型配膳ロボット、麻雀人工知能の naga など、様々な人工知能が話題となっている。こうした AI の開発によって、知的業務や複雑な手仕事業務は人間ではなく機械によって代替されていくという見方が強まっている。

見出しもバリエーションが
多い Good である

2 我々の雇用や生活に及ぼす影響について

1) 先ず、雇用について、

① 少子高齢化によって減少する労働人口の補完が考えられる。

少子高齢化によって減り続ける生産人口を補完する形で、AI の導入が普及すると考える。

実際、飲食店におけるホール業務にあたる食品の配膳や、工場における生産物のパッキングなど既に人間にとって代わって機械が行っている現状がある。

現状市折で示している

② 業務自動化でフレキシブルな働き方の実現が考えられる。

上記で述べたような労働人口の補完によって、人間の業務時間に余裕ができることによって、子育てや介護問題などプライベートな問題に向き合える時間が増える。AI が業務を代わりに行うことで、長時間拘束を前提とすり業務を行う必要がなくなり、仕事と子育てや介護などの両立をはかるフレキシブルな働き方が実現できる。

AI の導入によって生産力が
上がる Good である

もちろん、雇用について良い影響だけでなく、AI によって人間の雇用機会が減り失業する人が出てくるのではないかと懸念もある。しかしながら、AI の導入によって生産力が
増えれば、新たな市場が生み出されこれまでにない雇用機会も創出されることを考えれば、
こういった不安も振り払うことができる。

フレキシブルな働き方も
AI の導入で Good である

2) 次に生活について

① これまで窓口を通じて行われていた手続きを AI と通じて行うようになる。

窓口で手続きが必要であった作業 (市役所手続き、ホテル等のチェックイン、レストランにおける注文) が AI を通じて行われることで、利用者にとって利便性が向上する。

② 様々な日常生活でのサポートを行う。

スマートスピーカーによる音声操作やナビゲーションアプリの最適経路の掲示など、日常生活における作業を AI に支えてもらうことで時間と労力を節約し、生活の質の向上につな

一度はポジティブにとらえて
論理的にもその優越性は
ある。

見出しが良い

がる。

もっとも我々の生活にAIが不可欠なものになればなるほど、個人情報の流出などリスクも伴う。そのため、セキュリティ面で対策をしながら利用する必要がある。

以上、AIは人間の雇用や生活の利便性を高め、必要不可欠なものになると考える。同時に、AIを扱う側の我々は、社会をよりよくする手段として、リスクを考慮しコントロールする努力をし、共存していかなければいけないと考える。

デジタル的リスクの存在をためす!

十分は合格回答だと感じます。

きちんと肉々に答えて、文章の論理性もあって非常に読みやすい回答です。

この回答は合格以下という
情報を得ています!